

令和3年度 第4回 福井警察署協議会 開催結果

1 日時

令和3年12月23日（木）午後2時00分から

2 場所

福井警察署

3 出席者

- 協議会委員 8名
- 福井警察署 署長以下8名

4 内容

- (1) 協議会会長挨拶
- (2) 福井警察署長挨拶
- (3) 提言に基づく業務推進報告

ア 生活安全課・刑事課関係

- (ア) 声かけ事案の検挙等活動の推進
- (イ) 声かけ事案の発生状況
- (ウ) 集団登校見守り活動の活性化
- (エ) 不審者対応訓練の実施
- (オ) 街頭防犯カメラの設置促進
- (カ) 児童虐待事案に対する取組
- (キ) DV・ストーカー事案対策の推進
- (ク) 特殊詐欺から高齢者を守る取組
- (ケ) 高齢者の保護等への対応

イ 交通課関係

- (ア) 交通事故発生状況
- (イ) 子どもを交通事故から守る諸対策
- (ウ) その他の諸対策

(4) 質疑応答

【委員】

歩道橋が撤去されている所もあるが、撤去の基準はあるのか。

【警察】

警察では撤去の基準を設けていない。

最近、明新小学校近くに、新しく歩道橋が設置されたが、それは、従来、スクランブル交差点を渡って児童が通学していたが、スクランブル交差点よりも、歩道橋の方がいいという意見があり歩道橋が設置されたと聞いている。

【委員】

最近の特殊詐欺の特徴を教えてほしい。



【警察】

特殊詐欺が出始めた頃は、オレオレ詐欺が主流であったが、その後、はがきを送りつけ裁判費用等を請求する架空料金請求詐欺や高齢者宅に警察官や銀行員、弁護士等を騙り電話をかけ、未払い金等の名目で、グループで金銭を騙し取る手口が増えてきた。

次々と新たな手口が出てきたり、しばらく無かった手口が、再び出てきたりと、手口が繰り返されている。

犯人グループは、以前は日本国内の大規模都市に拠点を置くことが多かったが、最近は、アジア・東南アジア等海外に拠点を置き、海外から騙しの電話をかけるグループも増えている。

今年は還付金詐欺が急増した。還付金詐欺と言うのは、主に65歳以上の女性をターゲットに、夕方電話をかけてきて、還付金を名目に「今日中に手続きしないと支払われない」などと急かしてATMに誘い出し、電話で指示をしながらATMを操作させるもので、お金が返ってくると思ったら、実は相手に払い込んでしまっているという手口で、還付金とか今日限定というワードに慌て、騙されてしまうという傾向にある。

詐欺の予兆電話を認知した際は、即座に全県下に手配し、警察官をATM等に配置し抑止対策等を講じている。

【委員】

被害に遭うのは高齢者がほとんどとのことだが、詐欺グループは資料等を持っているのか。

【警察】

詐欺グループには情報屋と呼ばれる者がおり、詐欺に利用するリストを買い取っていると思われる。そのリストを基に高齢者にターゲットを絞り、電話をかけていると思われる。

高齢者は電話やはがきを利用した詐欺が多いが、若者はメールやラインを使用したものが多い。

【委員】

朝の通学路で旗持ちをしているが、きちんと停止線手前で止るドライバーもいれば、横断歩道を子供が横断しているにもかかわらず、ギリギリまで停止しないドライバーもいる。

このような危険なドライバーを取り締まることはできないか。

【警察】

道交法での取締りは検討を要する。

横断歩行者がいる場合には止まらなければいけないと道交法で規定されている。危険な運転をするドライバーがいる場合、通報や相談を受けられることもあり、その状況が確認できれば、ナンバーを基に運転手を割り出し、指導・注意喚起をしている。

【委員】

積雪時に除雪車が出ても、通学路に車が止まっていて除雪ができず、その部分だけ雪が残り通学に支障をきたす場合がある。そのような場合に、車を撤去する方法はあるか。また、警察に通報してもよいのか。

【警察】

除雪に支障をきたす車がある場合には通報してほしい。ナンバーを基に使用者に連絡し移動を依頼する他、悪質な場合は駐車禁止で検挙する場合もある。緊急の場合は、簡易レッカーで撤去する場合もある。

冬期間の除雪に備え、路上駐車に対する指導は強化しており、特に大きな団地やアパートの周辺は、路上駐車が多いことから、集中して指導取締りを実施している。迷惑な駐車があった場合には、通報をお願いしたい。